

VESSELVIEW LINK キット

重要：本書は、ディーラー、ビルダー、法人サービス担当による本製品の適切な取り付けまたは点検整備をガイドするためものです。本製品または同類の Mercury Marine 製品向けの推奨の点検整備手順または取り付け手順についてトレーニングを受けたことがない場合は、Mercury Marine の正規代理店整備士による作業を依頼する必要があります。Mercury Marine 製品の取り付けや点検整備に不備があると、本製品が損傷したり、本製品の取付作業または利用者がけがをしたりする原因になります。適切な Mercury Marine サービスマニュアルに記載されている部品の取り外し、取り付け手順を必ず参照してください。

注意：取り付け完了後は、所有者が将来役立てられるよう、これらの手順を本製品に添えてください。

キットに含まれるコンポーネント

数量	説明	部番
1	VesselView Link - シングルエンジン	NSS
	VesselView Link - マルチエンジン	
1	VesselView Link ハーネス	8M0111670
1	NMEA 2000® エクステンションハーネス	8M3002269
1	NMEA 2000 T字コネクタ	8M6002266

配線およびハーネスに関する注意事項

重要：以下に示す注意事項に従って、電気ハーネスの配線作業や他の電気アクセサリの追加作業の際に、電気システムの損傷防止に努めてください。

- 適切な認定サービスツールを使わずに診断を試みないこと。
- テスト用（厳密な調査）のワイヤーに穴をあけないこと。
- ハーネスにワイヤーを継ぎ合わせないこと。
- ワイヤーハーネスからの電源電圧または電流を接続、ネットワーク化、結合、切り替え、受信しないこと。
- 指定の接続点以外のワイヤハーネスには、いかなるタイプの通信または航海装置も接続しないこと。
- ボートに必要な装置は、ヒューズパネルやジャンクションボックスのサーキットブレーカーなど適切な電源接続を使用して取り付けること。
- 電源の電気ワイヤーハーネスには直接にタップしないこと。

ハーネス取り付け時のガイドライン

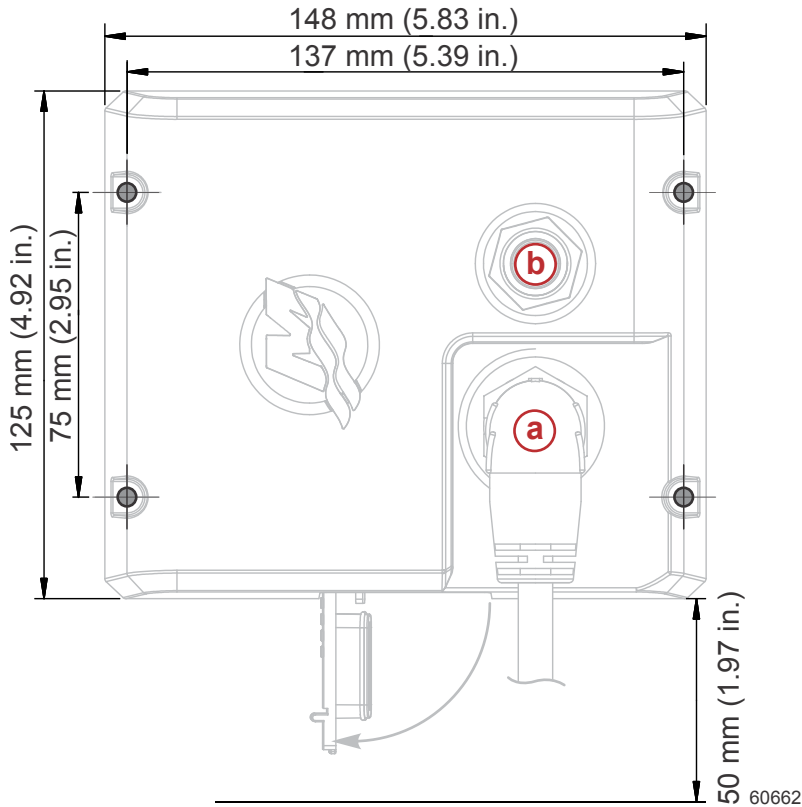
ハーネスを取り付ける際は、以下のガイドラインに従ってください。

- 最大 CAN バス長さは 70 m (230 ft)。
- CAN バスドロップの最大長さ（メインハーネスからの分岐）は 7 m (23 ft)。
- ドロップ全体を合わせた長さは、36 m (118 ft) を超えないこと。
- ハーネスの接続を設置ポイントに配線する適切な経路を見つけてください。
- ルーティングパスに、ハーネスを切断するおそれのある鋭角エッジや刻み目が一切ないことを確認すること。
- 結束バンドでクランプを使用し、ルーティングパスのハーネスや固定・支持すること。ハーネスがリギングチューブに格納されていない場合は、ルーティングパスに沿って、クランプや結束バンドを接続点から 25.4 cm (10 in.) 以内のところに使用し、さらに 45.8 cm (18 in.) 毎に使用すること。
- すべての接続がしっかりと固定されていることを確認すること（ロック機構がある場合はロックされていることを確認すること）。
- 未使用の各コネクタに必ずウェザーキャップを付けること。
- VHF ラジオやレーダー装置など、電気干渉（EMI）を生成する装置から少なくとも 1 m (3 ft 3 in.) のところにハーネスを通すこと。

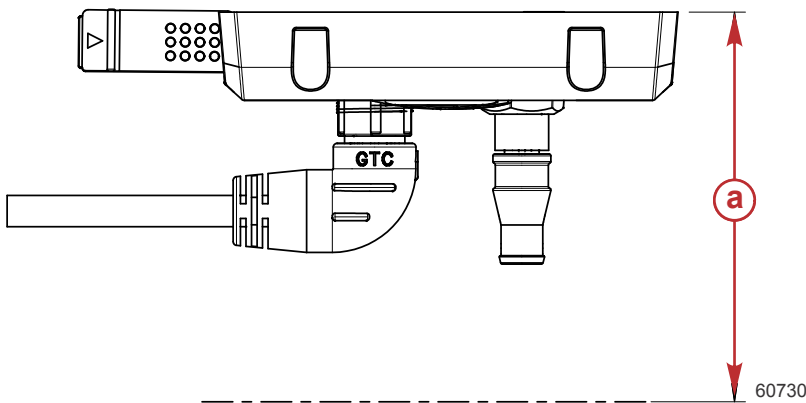
VesselView Link の取り付け

- VesselView Link モジュールを取り付ける適切な場所を決めます。以下のガイドラインを考慮してください。
 - 取り付け部分の造りが、VesselView Link モジュールを支持できる程度に頑丈であること。
 - ヘルム下の点検整備エリアへのアクセスの邪魔にならないこと。
 - ハーネス接続用モジュールの前部分にスペースが十分にあること。10.6 cm (4.17 in.) 推奨。
 - 操縦者の足や膝が VesselView Link ユニットにぶつからない場所であること。
 - ヘルム、スロットル、シフト、ジョイスティック操作の邪魔にならない場所であること。
 - Sd カードアクセス用のスペースが十分にあること - 5 cm (1.97 in.) 推奨。
 - ハーネス延長接続用に、NMEA 2000 バスおよび SmartCraft ジャンクションボックスから届く範囲にあること。
- VesselView Link モジュールをテンプレートにして、取り付け穴の位置に目印を付けます。取り付け寸法やクリアランスは、下図を参照します。

注意： ブラケットをファイバーグラス表面に取り付ける場合は、パイロット穴をあける前に、マスキングテープを貼ってください。これには、ファイバーグラスの剥離やひび割れ防止効果があります。

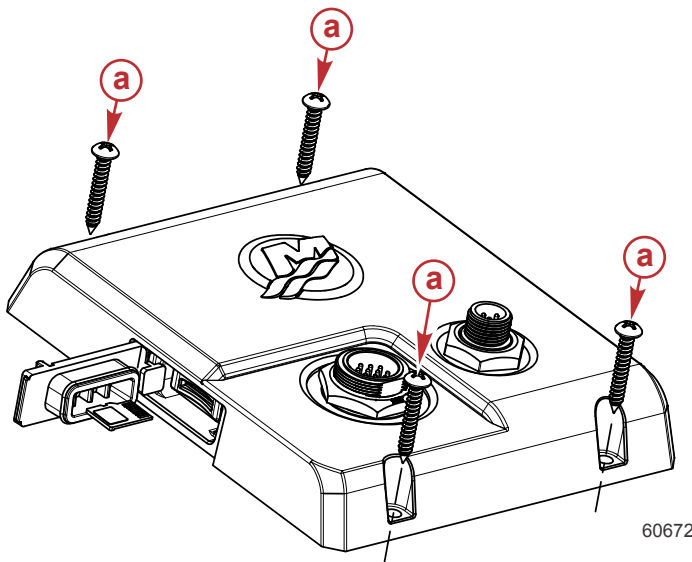


- a - VesselView Link (SmartCraft) コネクター
- b - NMEA 2000 コネクター



ハーネス接続用に 10.6 cm (4.17 in.) のクリアランスを確保する
a - 10.6 cm (4.17 in.)

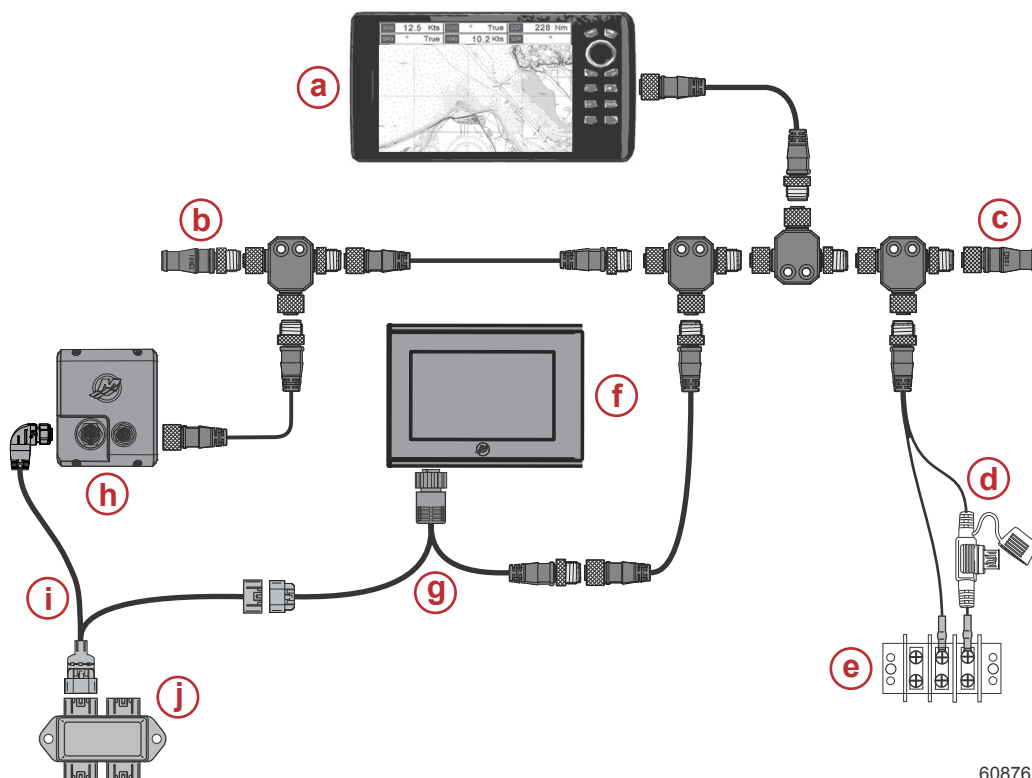
3. #29 ドリルビット (0.136 in.) を使用して、VesselView Link モジュールを取り付けるためのパイロット穴を4か所にあけます。
4. 提供されている取付ねじを使用して、VesselView Link を取り付けます。



a - 取付ねじ (4 個)

VesselView Link の接続

- VesselView Link ハーネスを SmartCraft ジャンクションボックスに接続します。接続オプションは、用途に応じて異なることがあります。以下に示す、接続ガイドラインを参照してください。
重要： どちらかのキースイッチをオンにしたときに VesselView Link モジュールに電源が入るようにするには、マルチウエイク SmartCraft のマルチエンジンのデジタルスロットおよびシフト用のジャンクションボックスに VesselView Link ハーネスを接続するか、またはメカニカルスロットおよびシフト用のデュアルエンジン計器アダプターを使用する必要があります。
 - シングルエンジン DTS 用途の場合** - VesselView Link ハーネスを SmartCraft ジャンクションボックスに接続します。
 - マルチエンジン DTS 用途の場合** - VesselView Link ハーネスをマルチウエイク SmartCraft ジャンクションボックスに接続します。
 - デュアルエンジン メカニカルおよびシフト用途の場合** - デュアルエンジン計器アダプターを使用して VesselView Link ハーネスを SmartCraft ジャンクションボックスに接続します。
- NMEA 2000 T 字コネクタを NMEA 2000 バックボーンに取り付けます。
- NMEA 2000 エクステンションハーネスを NMEA 2000 T 字コネクタに接続します。

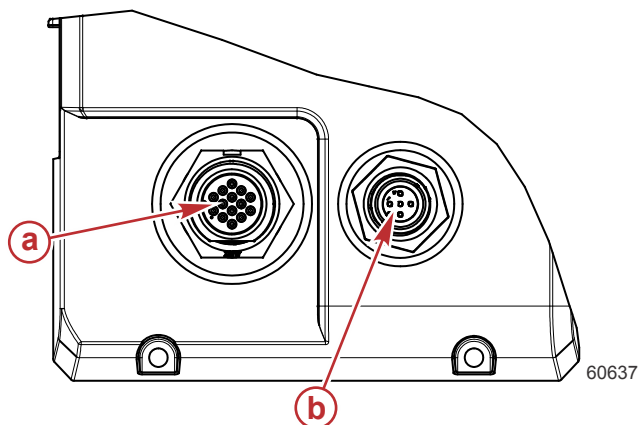


60876

標準 NMEA® 通信接続

- a - チャートプロッターまたはマルチファンクション ディスプレイ
- b - 120 Ω 終端抵抗、オス
- c - 120 Ω 終端抵抗、メス
- d - NMEA® 2000 ヒューズ付き電源
- e - パワーバス
- f - VesselView 502
- g - VesselView 502 ハーネス
- h - VesselView Link コントローラー
- i - VesselView Link ハーネス
- j - ジャンクションボックス

4. VesselView Link ハーネスと NMEA 2000 エクステンションハーネスを、VesselView Link モジュールの後部にある適切なコネクタに接続します。



- a - VesselView Link (SmartCraft) コネクター
b - NMEA 2000 コネクター